

日本昆虫科学連合2015年度（2回目）総会議事録

日 時 2016年3月29日（火）12:00～13:00

場 所 大阪府立大学中百舌鳥キャンパスB3棟1階119号室

（大阪府堺市中区学園町1番1号）

出席者 日本昆虫科学連合参加学協会（31名、委任状提出者12名、その他運営委員4名）、日本学術会議応用昆虫学分科会委員（3名、連合兼任1名を含む）

議事

1. 2015年度事業中間報告

2015年度1回目の総会および公開シンポジウム「衛生動物が媒介する病気と被害」（日本学術会議応用昆虫学分科会と共催）を開催した。[2015年8月1日（土）、東京大学]

2. 2015年度事業予定

2015年度2回目の総会および公開シンポジウム「昆虫類をめぐる外来生物問題と対策」を開催する。本シンポジウムは日本昆虫科学連合、日本学術会議応用昆虫学分科会、日本昆虫学会、日本応用動物昆虫学会の4団体が主催する。[2016年3月29日（火）、大阪府立大学]

3. 2015年度会計中間報告

配布資料に基づき2016年3月16日現在の中間報告が行なわれた。

4. 2016年度事業案

- （1）国際昆虫学会議における本連合主催のサテライトシンポジウムについて配布資料に基づき報告された。
- （2）ICE評議員の活動費補助は、今期（2013-2016年）については昆虫科学連合が負担する（日本応用動物昆虫学会と日本昆虫学会は支出しない）ことが報告された。
- （3）科学読本の出版計画について報告された。

5. 今後の事業計画

日本学術会議応用昆虫学分科会と連携して活動することについて審議され、承認された。

6. 次期代表および役員を選出

- ・次期役員選考委員会を設置し、多田内代表を選考委員長に任命した。

- ・次期代表候補者の推薦を所属団体に依頼したところ、5つの学協会から合計2名の推薦があった。次期役員選考委員会で協議の結果、石川幸男氏（東京大学）を次期代表候補者として推薦することに決定した。

- ・本総会で多田内選考委員長により次期代表の選考経過が報告され、承認され、石川次期代表により挨拶があった。続いて、次期副代表候補者として伴戸久徳氏（北海道大学）が、次期事務局長候補者として足達太郎氏（東京農業大学）がそれぞれ推薦され、承認された。